



学校だより

第3号



静修



令和4年5月20日

学校教育目標「ふるさとを愛し、自立して仲間とともに生きる『静修』の子の育成」

オープンスクール&育友会総会ありがとうございました！

4月29日(土)今年度最初のオープンスクールを開催しました。コロナ禍の続く中ですが、保護者の皆様にご協力いただき、感染防止対策をしっかりとりながら何とか無事開催できたことを本当にうれしく思います。また、育友会総会には全家庭が参加いただき、学校運営の方針や育友会活動の計画等にご理解をいただきました。本当にありがとうございました。来年度の日高小学校との統合に向け、すべての学校行事、児童会活動等が最後の年となります。常に子どもたちのことを第一に考えながら大切な一年にしていきたいと思ひます。これまで以上に学校、家庭、地域が今後もさらに連携を深めて、『静修』を盛り上げていければと思ひます。



家読(うちどく)のすすめ 【5月10日(火)全校朝会の話】

「家読」…みなさん！この字はなんと読むかわかりますか？全校生に問いかけた後、6年生に当てていくとほとんどが「かどく」と答えました。まだ一般的にはあまり知られていない言葉かもしれません。本校の児童は、朝の時間や休み時間、また授業が早く終わった時の隙間時間などによく本を読みます。とても集中して読みます。しかし、「家では？」と聞くと、校内アンケートによれば、多い人でも20分くらいで、0分という人もかなりいました。ゲームやテレビ、YouTubeなど、子どもたちを誘惑するものが家庭内に溢れ、なかなか読書の時間が取れないのが現状だと思ひます。家読(うちどく)は、「家庭読書」の略で「家族ふれあい読書」を意味するそうです。家族内のコミュニケーションを深めることを目的とした取組で次のような効果があると言ひます。

◆ 家族で仲良くなれる。

- ・共通の話題ができる事で会話が生まれる。
- ・親の思いや願いを伝えられる。
- ・子どもの心が安定し、気持ちにゆとりをもって会話できる。

◆ 語彙力や集中力がアップする。

- ・ことばの感覚が鋭くなる。 ・漢字が読めるようになる。 ・集中力がつく。
- ・耳からの読書(読み聞かせ)で、人の話が聞ける子になる。

◆ 感性が磨かれ、想像力が育つ。

- ・心の引き出しが増える。友達や他人の気持ちを推し量れるようになる。
- ・1冊の本を読み通すことで、達成感を味わえ、我慢強さも生まれる。

1冊の本を通して語り合う時間は、家族がいろいろなことを話すきっかけになります。豊岡市が推進している「やり抜く力」「自制心」「協働性」を培う非認知能力の向上にも繋がる活動だと思ひます。毎日実施するのが難しければ1週間に1回程度の実施でも問題ないということです。(時間は15分～30分くらいが無理なく続けられる目安です。)

とにかく習慣にすることが大切。早速今日から家族で「チャレンジ」ですね！



1年生を迎える会

4月28日

児童会が中心となって1年生を迎える会を行いました。小学校生活にもすっかり慣れた1年生ですが、みんなの前で発表するのは今回が初めて。ドキドキ緊張していましたが、優しい児童会の進行で、自分の好きな食べ物と動物を発表することができました。次の日の午後は花ランド（縦割り）チームで遊ぶ初めてのわんぱくタイムがありました。



読み聞かせスタート！

5月9日

今年も読み聞かせがスタートしました。この日をとても楽しみにしていた子どもたちは、朝からしっかり姿勢を整え楽しいお話に耳を傾けていました。

今年もボランティアの方々に掲示物等も作っていただき、居心地の良い、季節感あふれる図書室にしています。図書ボランティアは、1年中募集しています。毎回でなくてもご都合のつく時だけでかまいません。是非一度、図書室をのぞいてみてください。



6年生小小連携

5月10日

6年生が八代小学校と小小連携を行いました。コミュニケーション能力の育成を目的に、年間3回交流会を実施しますが、1回目は「コミュニケーションゲーム」コロナ禍での感染防止に配慮しながらグループで協力するゲームを行い、交流を深めることができました。この日は修学旅行に向けてのグループ活動も行いました。



スポーツテスト

5月12日

雨の日が続きましたが、ピンポイントで晴れ間のあったこの日の朝、全校生がそろって、スポーツテストを行いました。種目は50m走とソフトボール投げです。1年生は初めてでしたが、上級生に手伝ってもらいながら楽しく参加することができました。ソフトボール投げでは40mを超える児童もあり、思わず「ウオー」という歓声が上がっていました。

